

伊丹市立南小学校生活指導年間計画

本校のめざす学校像 ○笑顔あふれる学校 ○挑戦する学校 ○感動があふれる学校 ○全ての子どもの居場所がある学校 ○地域と家庭とともにある学校 ○いじめにしっかり向き合う学校	学校教育目標 「挑戦から学び 仲間とともに つながる子」 ～みんな みなみの子～
育てたい児童像 ○主体的に考え活動する子 ○挑戦する子 ○感動できる子 ○挨拶のできる子（つながる子） ○命を大切に、いじめをしない、許さない子	いじめ問題対策委員会 ：校長 教頭 生活指導担当 各学年 養護教諭 ＊状況に応じて関係職員等も含めて編成

《年間指導計画》

月	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組	早期発見に向けて
4月	いじめ問題対策委員会 ・指導方針の確認 ・1学期計画作成 職員会議 ※2	いじめ防止研修会	個別面談(希望者) ※1	早期発見に向けて 1 すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。 2 いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。 3 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。 4 各担当が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0e0;"> 危機管理の心構え「さしすせそ」 さ:最悪を想定する し:慎重に対処する す:素早く対処する せ:誠意を持って対処する そ:組織全体で対処する </div>
5月	生活指導部会	人間関係づくり ※6 特別支援教育研修 ※4	学級懇談会(2～6年) ※3 学級懇談会(1年) ※3	
6月	生活指導部会	修学旅行・自然学校 情報教育講演会 ※5	いじめアンケート ※7	
7月	生活指導部会	市内一斉パトロール	個人懇談 ※8	
8月		人権教育研修 情報モラル研修 カウンセリングマインド研修	家庭連絡 必要時 ※9	
9月	いじめ問題対策委員会 ・情報共有 ・2学期計画作成 職員会議	運動会 ※8		
10月	生活指導部会	自然学校		
11月	生活指導部会	オープンスクール ※6	いじめアンケート ※7 学校評価アンケート ※10 個人懇談 ※8	
12月	生活指導部会	図工展 市内一斉パトロール		
1月	いじめ問題対策委員会 ・情報共有 ・3学期計画作成 職員会議	校内支援委員会 ※11		
2月	生活指導部会	一日入学 ※6	いじめアンケート ※7	
3月	いじめ問題対策委員会 ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正	特別支援教育研修 ※4 新年度学級編成 ※12	学級懇談会 ※3	

- ※1 個人面談(希望者)
家庭訪問を実施しない代わりに、児童のことで学校と個別に相談したい家庭の希望をとり、懇談を行う
- ※2 職員会議
いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全職員で共通理解を図る
- ※3 学級懇談会
学年・学級として目指したい子どもの姿や、発達段階に応じた人間関係上の課題(いじめやインターネットトラブル等)について保護者と共通理解を図る
- ※4 特別支援教育研修
個別に合理的配慮や特性等の理解が必要な児童について全職員で共通理解を図る
- ※5 情報教育講演会並びに6年生一斉指導
昨今のSNS等の情報ネットワークにまつわるトラブル等について児童向けに講演を実施し、情報セキュリティについての注意を喚起する(保護者の参加も呼び掛ける)
- ※6 人間関係づくり
学期ごとに、児童とともにクラスの課題について振り返り、人間関係を含めた課題の解決について考える(学級力アンケートを適宜実施する)
- ※7 いじめアンケート
市として行ういじめ問題への意識調査を実施し、いじめの実態把握と早期対応を図る(市として行う第1・2回に加え、本校独自で第3回を独自に実施)
- ※8 個人懇談
1学期末・2学期末に個人懇談を実施し、生活状況を把握するとともに、クラス内の状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する
- ※9 家庭連絡
1学期に不登校傾向にあった児童等に対して、夏休み中に必要に応じて連絡をとり、不安感の払拭を図る
- ※10 学校評価アンケート
児童・保護者・教職員の3者アンケートを通して課題の早期発見を図り、加えて早期発見リストを用いて自身の指導を振り返る
- ※11 校内支援委員会
新1年生の聞き取りを各園に行い、事前に人間関係上の課題の事前把握を行い、学級編成に役立てる